



関西大学

平成 28 年度 経済政治研究所第公開セミナー

第 3 回公開セミナー

〔アフリカ経済・環境研究班〕



# アフリカ(特にポルトガル語圏 PALOP)における 日本及び中国の開発協力のあり方

長らく、貧困や紛争の代名詞として語られてきたアフリカであるが、この 10 年間で、アフリカは著しい経済成長率を示す大陸としても世界に認知され始めた。さらに、現在 10 億人の人口は、2050 年には 20 億人を超え、中国やインドを上回ると見られ、アフリカが巨大市場と化する現実が見えてきている。しかし、その経済成長の一方で、アフリカは全世界 49 カ国ある後発開発途上国(LDC)のうちの 33 カ国が集中する地域でもある。世界的な資源価格の高騰、市場経済の加速化、外国投資の急増及び技術移転の加速で急速な経済成長を遂げる一方、深刻化する環境破壊と貧富差の拡大、伝統的価値観の崩壊等、多くの社会的課題が一気に噴出し始めているのがアフリカである。

今回は、TICAD(アフリカ開発会議)の動向を分析してこられたアフリカ研究の専門家をお招きし、アフリカの中でも PALOP と呼ばれるポルトガル語圏(アンゴラ、カーボベルデ、ギニアビサウ、モザンビーク、サントメ・プリンシペ)における日本と中国による開発協力のあり方について、その現状と課題をお話いただく予定である。

日 時 平成 28 年 7 月 22 日(金) 13:00~15:00

場 所 関西大学千里山キャンパス 尚文館7階特別会議室

報 告 Dr. Pedro Miguel Amakasu Raposo

de Medeiros Carvalho

(University Lusíada do Norte, Porto(ポルトガル))

法学部(国際関係論)准教授)

通訳・コメント 山名美加 (関西大学法学部教授、知的財産法)

聴講無料・事前申込要

参加希望の方は、氏名・所属・連絡先を明記の上、下記のお申込先まで、FAX、Eメールまたはお電話でお申し込み下さい。(定員：先着 15 名)

【お申込先】

関西大学 研究所事務グループ

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

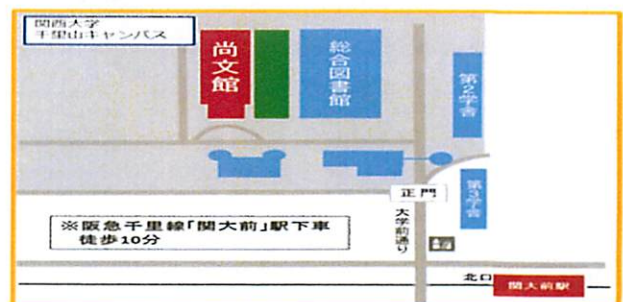
TEL 06-6368-1179 / FAX 06-6339-7721

E-Mail [keiseiken@ml.kandai.jp](mailto:keiseiken@ml.kandai.jp)

経済・政治研究所ホームページ

<http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/index.html>

※ 講演言語：英語（通訳あり）



※ 本研究会は日本学術振興会科研費(基盤B)による研究費を一部使用しての開催です。